

令和2年3月

# 大島海洋国際高校 硬式野球部

大島海洋国際高校野球部  
顧問 増子良太



## ○ 令和元年度 活動報告新聞(最終号)

本校野球部HPをご覧くださいましてありがとうございます。

今年度の最終号になる今回は、3月8日に行われた卒業式等についてです。是非最後までご覧ください！

### 1、野球部3年生最後の日(3月8日 卒業式)

新型コロナウイルス感染症の影響で、本校の卒業式も卒業生と職員のみで行われました。1,2年生の部員たちは、3月初めに急遽帰省しなければならなかったため、こちらが3年生への卒業記念品を預かり渡す形となりました。1,2年生としては、3年生にこれまでの感謝の気持ちを直接伝え、直接渡したかったと思います。仕方ないことではありますが…。

さて、卒業式当日は慌ただしい時程(卒業生は午後の大型船で離島するので…)ではありましたが、少ない昼休みの時間に私たちのところに顔を出してくれました。選手たちから預かった記念品を渡し、最後の話をしました。簡単に言えば『人の支えを感じ、頑張っ生きて！現役中に伝えたことを思い出せ！何かあれば力を貸すから連絡して来い！』といったところでしょうか。毎年思うことですが、卒業を迎える日までに、というより現役中に伝えたいことを全て伝えているからか、この日に伝えることがあまり見つからないというのが正直なところ。それだけ、彼らとは濃密な時間を過ごし、こちらも本気で伝えてきたということなのでしょう。

彼らと過ごした時間を今思い返してみると、この代は本当に手を焼きました。感謝や人に支えられているという感覚の乏しい人たちが多かった。加えて、高い目標も口にできない。「自分たちは高い目標目指せるレベルにない」とか言ってました。「じゃあ、どうしたら目指せるの?」「目指すから変わるんじゃないの?」なんて話をしたのを今でも覚えています。そんな彼らでしたが、本当に変わりました。高い目標を口に、感謝や支えを感じ、それを口にできるまでになった。「人ってこんなに変わるんだ」というのを見させてもらいました。本当にありがとう。海国野球部で学んだことを糧にして、これからの社会で力強く羽ばたいていくことを期待しています。卒業おめでとう！本当にありがとう！！



## 2、次年度に向けて…

先日、都内で本校の修了式が実施され、選手たちと現状と次年度のことについて話ことができました。現在、新型コロナウイルスの影響により、部活動ができない期間が続いています。こうした場合、多く人が「練習ができない」とマイナスの側面ばかり見てしまいます。しかし、海国野球部にとっては今の状況は「チャンスだ!」という話をしてきました。

長期休業中になると、海国はもともと人数が少ないので練習試合はできない上、大島が拠点なので都内の学校に力を借りないと練習もできません。しかし現状、どの学校もみんな同じ状況になってしまいました。そこで、「君たちがモチベーションを保って今できることに取り組んでいけば、他の学校との差を縮めるチャンスだ」と伝えてきました。もちろん、他の学校も「切り替えてやっていこう」としているとは思いますが、しかし、この状況にモチベーションが上がらない、諦めてしまう選手は間違いなく多く出ます。こうした自分ではどうにもできない逆境と呼べる状況で大切になるのが、「誰かのために」という思いなのです。今この状況で、モチベーションを保って生き残っていけるのは、野球に取り組んでいる目的が明確化どうかにかかっていると言っても過言ではありません。「自分が好きで野球をやっている」とか「自分が活躍したい」など“自分のため”やっている人は挫けます。

さて、海国野球部の部員たちはどうでしょうか。おそらく大丈夫!こうした“誰かのために”という目的については、ずっと話をしてきました。なので、こうした状況でも自分たちが野球をやっている目的を思い出し、自分たちにできることを今まで通りやってくれることでしょうか。4月に大きく成長し出会う姿に期待したいと思います!ワクワク♪



**最後になりましたが、今年度も大島海洋国際高校野球部を応援してください、またHPをご覧いただきまして、本当にありがとうございました。  
次年度も大島海洋国際高校野球部をよろしく願います。**